

平成 27 年 11 月 1 日（日） 北松尾区 タウンミーティング 参加者 41 名

【市長との意見交換】

市民： グリーンポリス周辺、あゆみ野地区で、和泉市のご努力ご協力をいただいて、企業誘致が進み、開発され、発展していて将来は明るいと思う。ただ、そのために交通量が非常に多くなり、泉州山手線の整備はされているが、岸和田との境で止まって先へ行かないので車がグリーンポリスの方を回って岸和田へ流れる。岸和田の人も和泉中央方向に来るとき、泉州山手線が通ってないので、グリーンポリスの横を通っている。あゆみ野周辺も車が多く、トラックも多く、通学路も危険に瀕している。なんとかならないか。泉州山手線がすごく混んで、帰ってくる時も渋滞でなかなか帰れない。

今、泉州山手線も上下 2 車線ずつだが、真ん中が空地になっているが、せめて 3 車線にするか、少なくとも交差点を右折で逃げられるようにすると改善できるのではと、市に質問すると和泉市の土地ではなく府道であるとのことであった。府道であっても府と市がどうやって効率化を目指すか協議していると思うので、何か良い解決策があるのではないか。たとえばガソリンスタンドのところ、和泉中央への一方通行を反対に切り替えるなど、検討してもらえばもっとスムーズに走れるのでは。

市長： 私も近所で実態はよく知っている。泉州山手線ができていないときは、すぐ横が水道道ということで、広くはないが、岸和田、貝塚に抜ける主要幹線道路であった。泉州山手線ができて、一気に交通量少なくなり、住みやすく安全になったと聞いていた。新たにまた和泉市が活性化してきて交通量が多くなっている。

私の家は唐国だが、そこもかなり多くなっていて、朝、家の前の道を横断するのに車 10 台位待たないと通れないこともある。逆に言うと、それだけ和泉市のなかでヒト、モノの流れができてきた。賑わいの反面、交通渋滞が発生してきた。それを解決するためには、道路整備をしないといけない。道路整備や地域整備は予算が伴うので、すぐにはいかない。来年 3 月に泉州山手線と唐国久井線の交差点の岸和田よりのところはかなり大きな商業施設ができるが、それにあわせて道路整備が今進められている。オープンに間に合うかの報告を受けていないが、片側 4 車線に整備する箇所が 2 か所ある。こちらから泉州山手線の突き当たりまで行って、岸和田方面にしか行けないが、そこが突き抜けることになる。そこからその商業施設に入っていく。その部分が片側 4 車線になる。堺から岸和田に向かって右折するところが 2 車線できる。それと岸和田から堺に向かっていくところの一部が 4 車線になる。形状は確認していないが、中央分離帯のところは本来、泉北高速を泉佐野まで延伸するための用地を UR が確保していたが、そこに入っていくと思う。岸和田から堺向きで左折するレーンが一つ、グリーンポリスへ右折するレーンが一つ。合計 2 車線、部分的ではあるが増やすと聞いている。

ガソリンスタンド（キグナス）のところが変な一方通行になっている。警察にず

いぶん前から要望していたが、警察はこの信号をショートカットしていくからダメであり、通るなということ、変わった一方通行にしたが、来年の春頃にその一方通行を逆にして、本来の形の一方通行に変更するように話が進められている。

泉州山手線の準高速化、泉北 1 号線はずっと高架になっているが、それと同じようにできないかということについては、相当な予算があるので、大阪府では計画がない。要望はしているが、具体的な答えはまだできる段階ではない。

市民： たばこの吸い殻と空き箱が非常に多い。和泉市でたばこのポイ捨て条例ができて、実際に市の広報に例えば「たばこの吸い殻を捨てた人を何人か見つけましたよ。」とか「注意をしましたよ」とか、「たばこを捨てた人の情報が入っていますよ」とか、「看板を建てましたよ」とか市の広報に載せてもらうことによって、抑止力ができていくのではないかと。せっかく条例ができていても関わらず、あまり効果が出ていない。

市長： 頭が痛いところ。去年ポイ捨て条例作ったが、作ったからといって、ポイ捨てがなくなるわけではなく、犬の糞の後始末についても市民のモラルや意識が高まらないうと守らない。

条例を作る前に、清掃活動を役所で始めた。和泉市玄関と府中駅から役所までの間を、職員が毎月 11 日に清掃をさせて頂いており、それと合わせて 11 日に和泉市の 5 つの駅、光明池、和泉中央、府中、信太山、北信太で 30 分位、結構な人数で朝のあいさつ運動をしている。そのうちの半分はゼッケンをつけて清掃活動をしている。そういう形で啓発活動を続けていくのが一番いい。条例を作ったばかりなので、罰金とか料金をするよりも、しっかり啓発活動をしていって、それでも治らない場合、料金を取ったり罰則をつけたりすることも考える必要があるかと思う。地元の有志で泉州山手線の清掃を年に何回かしているが、一番捨てられるところは信号で停まっている時。そういうところに子どもが書いてくれたポイ捨て禁止とかのポスターや標識を立てると少しはましかと思う。市民のモラル向上に取り組み、ある時期から罰則も考えていく必要があると思う。

市民： 特にららぽーとの辺りや、つくしの公園で若い人が土日に荒らして、たばこの吸い殻や、ケーキや飲み物や花火のカスなどがすごい。ごみは大体拾って持ち帰るが、ケーキなど床に張り付けたようなものはどうしようもないので、先日は公園緑地課に電話して来てもらった。防犯カメラを付けてもらえればありがたい。

市長： 防犯カメラはごみの不法投棄や子どもの安全確保のためにつけたいと思っているが、1 台あたりかなり経費がかかるのでその前にできることはないか。啓発看板を沿線につけるなど、そういうことも考えていきたい。

市民： 自治会の加入者自身が高齢化し、自治会活動が負担になっている。そのために脱会していくという悪循環に陥っている。その解決策として一つは、市の窓口でもちゃんと「入った方がいい」と言ってほしい。あとは空地、空き家。子どもが出てし

まって両親が亡くなられて、空地空き家になっているところの活用について、空き家の固定資産税を増やしたらどうか。空地や空き家について草が伸び放題になっており、環境問題になるので取り組んでほしい。

市長： 町会の加入率の低下は全市的。今回で市長とのタウンミーティングは5年目だが、毎年特に多い。どこでもそういう問題が発生していて、役員になるのが嫌でその時にやめてしまったりと加入率の低下が顕著になっている。我々も努力して一時は上がったが、また下がっている。その中で高齢者の安否確認を自治会、民生委員に協力を頂いて行っているので、加入率を上げることが地域の安全安心にもつながる。我々も何としても加入率が上がるように努めている。よく罰則を付けたらどうかとか言う意見もあるが、なかなか難しい。今はパンフレット作って配布したりしている。一番可能性があるのは分譲するときに町会に入っていたくのを条件とするということで、宅建協会や不動産協会と協定を結んで、協力を依頼している。しかし、なかなか進んでいかない。

泉佐野は、これは実際行われたか確認取れていないが、有料のゴミの袋を無料で町会に会員の方には差し上げるということをしていると聞いている。市でも町会に入っていることに何かメリットを、不公平感がないように出せないかということを検討している。広報を未加入者に配らないでくれと言う意見が以前あったが、広報は税金を納めている市民全員に配布するという行政の義務があるので、町会に入っていないからといって配らないことはできない。

町会自治会にご協力頂いている方々に、町会自治会を通じてメリットを持っていただけるように、法に抵触しない形で方法を考えていきたい。

市民： グリーンポリスでは、防災組織を作ってそこに加入している人には、いろんな訓練をやったり情報流したりすることによって、加入してない人たちが防災組織に加入したりという傾向もある。これも一つの方法だと思う。もう一つの意見として国で自治会の加入を義務化する法令を作るべきという意見もあったので市として後押ししてほしい。

市長： 和泉市だけでなく全国的な問題で、核家族化高齢化で、地域のきずなや交流が低下している。私も全国市長会にも大阪府市長会にも出ているので、意見として伝える。

空き家については、全国的にも空き家が増えていて、少子化人口減少社会になって家が余ってきて、さらに増える。空き家の放置で治安も悪く、防災上危ないと言われている。放置している家屋に規制を行っていくという空家法が制定された。ただ固定資産税を高くするのは難しいが、空き家の場合、住んでいると減税され、住んでいないと固定資産税は減税されない。

市： 特定空き家、壊れかけの空き家と認定されたら減税対象から外れる。

市長： 住んでいたら土地の固定資産税が200平米までが6分の1位になる。住宅用地の

適用対象から除外された場合、6倍になる。そういうデメリット、ペナルティは課していくことはできる。

グリーンポリスは、空き家は多いのか。若い人、次世代の人が引っ越して、引退された方が施設に入ったり、子どもさんと同居したりで、空き家になっている所を買って新しく建て替えという循環はまだ起こってないか。

市民： 2,3件はある。

市長： 昔は離れ小島と言われたが、今は住みよい和泉市の奥座敷と言う声もあるので、PRしていったら循環というか、新陳代謝が進むのではと思う。青葉台は結構進んでいると聞いている。青葉はつが野地域は人気がある。はつが野は高いので、青葉台を選んで古い家を取り壊して新しく造るといった新陳代謝が進んでいる。ただ人口減少社会なので、そんなに一気に和泉市に移り住む人は増えるということはあまり期待できない。空き家対策は全市的課題。

市民： グリーンポリスは高齢者がものすごく多い。高齢者が集う場所は集会所しかない。もし空き家の持ち主の人がいいと言ったら、高齢者の集いの場所としてグリーンポリスで利用できたら、市からの補助金がもらえるか、とかそういうことは考えられないのか。商店街等でやっている街角カフェなど。

市長： それが可能かどうか検討してみる。今はいろんな公共的な施設を使って、いきいきサロンなどがある。空き家を使って、可能か考えてみる。

市民： 最後に、泉北高速の沿線にホテルがない。この和泉市のグリーンポリス、北松尾校区にもホテルがない。冠婚葬祭で親族が集まるときに泊まるところが遠くて困る。誘致をしていただけないか。

市長： ホテルに関しては20年くらい前から、誘致活動を和泉市では行っていて、和泉中央駅ができる前から話をしているが、来てくれと言ってもきてくれない。私も市長に就任してからURの土地に造ってもらおうと、ホテル用地確保をURに要望していたが、なかなか前へ進まない。そんな中どんどん中央周辺が宅地分譲されてマンションができたり、これではいけないと思い、東京のコンサルを紹介していただいて聞くと、ホテル誘致は難しい。ホテルが土地を買って、建てるとなると東京は都心なので可能だが、大阪では大阪市内でもいい立地でないと来ない。ましてや地方都市で建てるとなると、土地は市で確保し、建物は地域の事業者、商工会議所の役員、大きな企業でホテルを必要としている方が建てて、そこにホテルの運営会社を委託派遣するというのであれば可能とのこと。和泉市にホテルを建ててまでと言うのは難しい。

今年、他にも研究し、ホテルの誘致条例というのを作って成功した兵庫県の小野市の市長の話聞いた。それから条例はないが、和歌山の橋本市にもホテルができる。ロードサイド型のホテルルートインというところ。立地が良い所ではないが、ホテル誘致に積極的な自治体は可能性がある。我々も小野市レベルの条例が必要と

考え、実際にホテルが必要かどうかということは、行政だけの意見では進まないの  
で、5月頃にホテルの誘致に関する協議会を立ち上げた。メンバーは商工会議所のメ  
ンバー、テクノステージの街づくり協議会と西部ブロックの企業と桃山学院大学と  
池田泉州銀行から委員を派遣して頂き、議論をしていただき、やはり和泉市にはホ  
テルが必要となった。企業の研修などでも泊まる場所がなく、市民のいろんな催  
しや家族の催事があっても泊まる場所がないので、泉大津に行ったり、堺に行っ  
たり、大阪市内に行ったりと不便であり、ホテル誘致条例をつくることとなった。9月  
の議会で承認をいただき、ホテルの誘致に関して、土地と建物の減免、下水道料金の  
減免、バンケットや会議室といった地域の方が使えるパーティ会場を設置して頂く  
場合には、建設費の上限1億の10%を助成しようという条例を制定した。URで今  
年度中には募集があると思う。和泉中央のコープのテナントの岸和田よりもホテル  
用地を小さいが500坪あまり確保して、そこに募集をかける。制定後初めての募集  
なので、応募があるかと期待している。これに応募しているかどうかわからないが、  
少し話題になっているのが、ホテルルートインが自社ホームページで、ホテルを和  
泉市に建設したいということ載せている。具体的計画はまだが、和泉市の将来性  
を見込んで、観光客のインバウンドが増えてくるということで、ホテルが勝手に載  
せているホームページだが、29年の計画がある。ホテルの誘致してくる可能性がで  
てきたかと思う。